

週刊 **タバコの正体**

日本のタバコには「肺がんになる危険性があります」などの警告表示がされている事はすで紹介しましたね。ところが下の写真を見てください。海外のタバコには、警告文とともにちょっと直視したくないような画像が印刷されているのです。こんな画像を目にして購入するのはかなり抵抗があるでしょうね。こんなに強烈な警告しているのには訳があります。

じつは、タバコが原因でなくなる人は全世界で年間700万人を超えているとWHO(世界保健機関)が発表しています。そのためWHOはタバコの健康被害をなくすための「タバコ規制枠組み条約(FCTC)」という世界条約を制定しました。現在、日本も含む世界の182か国が締約して、この条約が示す対策を実践しています。写真の警告表示もその一つなのです。



医療サイト朝日新聞アピタル から

1.	Australia	27.22 \$
2.	New Zealand	23.75 \$
3.	Ireland	16.52 \$
4.	Norway	15.80 \$
5.	United Kingdom	15.58 \$
6.	Canada	12.39 \$
7.	France	12.15 \$
8.	Iceland	11.67 \$
9.	Israel	10.69 \$
10.	Singapore	10.55 \$
11.	Puerto Rico	10.00 \$
12.	Netherlands	9.72 \$
13.	Finland	9.72 \$
14.	Switzerland	9.43 \$
15.	Denmark	8.82 \$
16.	Germany	8.50 \$
17.	Belgium	8.50 \$
18.	United States	8.00 \$
19.	Jamaica	7.96 \$
20.	Sweden	7.91 \$
53.	Japan	4.57 \$

NUMBO 「Cigarettes 20pack(Marlboro) Markets から

さらに、その下のグラフを見て下さい。Marlboro というタバコの値段を国別で表したものです。1 \$ は約100円だとすると、1番高いオーストラリアではなんと2720円もします。以下ニュージーランドも2370円、5番目のイギリスは1550円、10番目のシンガポールは1050円です。タバコの値段を高くするのも FCTC で定められているからなのです。

こんなに高くて強烈な警告入りのタバコを買う人なんてはいるの、と思うぐらい多くの国では FCTC に従いタバコが売れないような対策がとられています。つまりタバコの健康被害をなくそうとしているのです。

一方、優しい警告表示のタバコを500円で買える日本は、世界のこんな流れにひどく乗り遅れています。

産業デザイン科 奥田 恭久